

# 市民と議会

小田原市議会を考える市民の会ニュース

発行 第2号 2010.10.21

編集 小田原市議会を考える市民の会

発行責任者 平野 茂樹

連絡先 47-0605(小泉)

<http://1st.geocities.jp/odawarashigikaiwokanngaerusimin/index.html>

《中央集権から地方主権への、大きな政治改革は確実に進んでいます。》

私たち国民一人ひとりが、もう大人だと認められ、自らの力でまちを、国を支え創っていかねばならない、責任ある時代に突入しました！

借金

国は約900兆円（一人あたり約708万円）、小田原市は約1387億円（一人あたり約70万円）の借金があります。

私たちはもっと足元の小田原市政を正しく知り関心を持ちたいと思いました。

◇議会事務局の出前講座を開催して勉強しました。☆議会 Q&A☆をホームページに掲載しています。

(H22年1月26日と4月22日に開講)

◇市議会が市民にアンケートを実施。

(H22年6月に実施し10月に結果公開)

☆市議会のホームページで見ることが出来ます。

◇当会が、現職議員さんにアンケートを実施。

議員さんからの回答は、そのままホームページに掲載させていただきました。

◇『小田原市議会を考える市民の会』のこれまでと、これからの活動。

☆ホームページを ご覧下さい。

小田原市議会を知るための情報満載です。

小田原市議会を考える市民の会

グーグルで探して下さい。

議会や議員さんは  
どんなことを  
されているのかな？

2頁参照



議員さんは  
どんなことを  
考えているのかしら？

3頁参照



この会って  
どんな会なの？  
何の気になるなあ

4頁参照



## ◇議会事務局に出前講座を依頼しました◇

( H.22年1月26日 )

・4月22日開講

私たちの住む小田原を、“ずっと住み続けたいまち”にするためには、市民・行政・議会が共に協力していかなければならないと思います。

けれど私たち市民は、議員さんや議会のことを、ほとんど知らないという現状に気づき、議会事務局に質問状を出し二度の出前講座を実施しました

☆議会 Q&A ☆を、ホームページに掲載しています。

### 〔出前講座の質問と回答の一例〕



#### Q.7 議員への歳費等について

(1) 議員への報酬は歳費、期末手当がどの程度支給されていますか。その他に手当類の支給がありますか。

また何らかの理由で長期間議会を欠席する場合、歳費・政務調査費等の支給は行なわれるのですか。

(2) 政務調査費が、議員個人に直接支給されているが、その金額はいか程か。そして使用用途の傾向を把握していますか。

#### A. 歳費と言うより生活給と言った方が良いでしょう。

(1) 給料…議長58.6万円、副議長51.1万円、一般議員47.5万円、ボーナス224万円、(21年度実績。年により変動する)、退職金なし、年金積立額の負担比率は本人6割、市4割(年間本人負担額は約110万円)(普通企業は5:5)

長期間欠席の場合、給料、ボーナス等は支払われるが、政務調査費は使わないので支払われない。

(2) 政務調査費…月6.5万円(年間78万円)視察、広報費、資料(書籍)、調査旅費等 領収書は1円から添付。前年度は3名が10~20万円返した。

## ◇市議会が

( H.22年6月に実施 )

10月に結果公開

## 市民にアンケートを実施◇

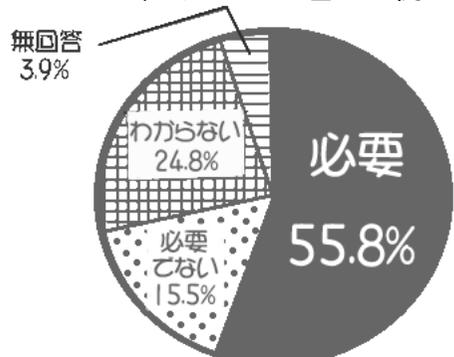
回収数912名(30.4%)

小田原市議会は、市内在住の18歳以上の市民3,000人を無作為抽出し郵送による無記名アンケート調査を実施いたしました。

議案に対する賛否の公開についての

市民の回答結果を円グラフにしたもの⇒

市民からの回答の一例



問 16 賛否を公表することは

## ◇当会が、議員さんにアンケートを実施◇

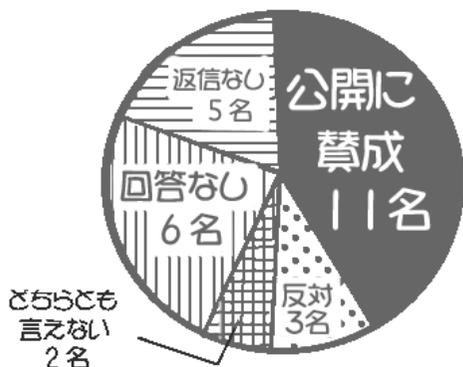
全国では、開かれた議会をめざして、様々な改革が行われています。そこで私たちは“議会を市民にとってより身近なものにするためには、どのようにしたらよいか”を考え、予算や条例など、市民の代表として、重要な事項の審議決定をしていただき、27名の市議会議員の皆さんに、アンケートを取らせていただきました。お忙しい中、多くの議員さんが真摯に答えて下さいましたので、皆さんが日々どのように市政を考え、政治活動をされているのかを知るための資料の、一端になることかと思えます。

### 〔議員への質問項目〕

1. 「自治基本条例」の制定の必要性について
2. 「議会基本条例」の制定の必要性について
3. 議長選時には議長・副議長立候補予定者は「候補者としての抱負」を本会議で述べる必要性について
4. 本会議で採択された議案に対する議員個人毎の賛否の公開について
5. 議会主導による「議会報告会」の開催について
6. 委員会や本会議で議員間の自由討議が出来る議会運営について
7. 行政側に「反問権」を付与することについて
8. 公聴会の積極的な活用について
9. 政務調査費を使用しどのような活動をしたのか、年1回以上文書による報告の必要性について

※ その他に、議員活動をされている場合はその状況を公開していただきました。

### 議員さんからの回答の一例



### 問4 賛否の公開について

### 議員さんからの回答

27名中、22名の議員さんがアンケートに答えてくださいました。

ありがとう  
ございました



☆議員さんからの回答は、そのままホームページに掲載させていただきます。詳細は、ホームページをご覧ください。

☆冊子を1部百円でお分けしています。（郵送ご希望の場合は送料を頂きます。）

## ◇今後の活動◇

### 「サポセン祭り」に参加

11/7(日) 10:00~15:00

場所 川東タウンセンター「マロニエ」

☆当会の活動紹介など

市議会議員へのアンケート結果冊子販売  
(一冊100円です)

### 「パネル展」に参加

(市民活動サポートセンター利用者の発表)

○11/7(日)

川東タウンセンター「マロニエ」

○11/15(月).16(火).17(水)

市役所 2階ロビー

○12/3(金).4(土).5(日)

市民会館 本館ロビー



## 講演会「開かれた議会とは」 講師：廣瀬克哉教授

とき 平成23年1月16日(日)

14時~16時

場所 川東タウン  
センター「マロニエ」202号

### 講師プロフィール

廣瀬克哉(ひろせかつや 1958年)  
日本行政学者 奈良県出身 現  
在は法政大学法学部政治学科  
教授 日本行政学会事務局担当  
理事 自治体議会改革フォーラ  
ム代表 市民と議員の条例づく  
り交流会議代表運営委員 他

激動し大きく変わろうとしている現代にふさわ  
しい、理想的な議会とはどんなものなのか？  
その道にかけてのスペシャリストである廣瀬教授  
に具体的で分かりやすくお話をさせていただきます。

## 「小田原市議会を考える市民の会」月例会

第16回 11/11(木) 18:30~ 川東タウンセンター「マロニエ」204号室

第17回 12/2(木) 13:30~ 川東タウンセンター「マロニエ」204号室

小田原市議会を考える市民の会 に、みなさんも参加しませんか？

活動に参加して、私たちの住む小田原を“ずっと住み続けたいまち”に  
するために、ともに議事を勉強しましょう。(資料代100円です。)

## 「小田原市議会を考える市民の会」

市民の視点に立った小田原市議会についてのHPです

HP  
みて

小田原市議会を考える市民の会  検索  グーグルで探して下さい。

☆当会の運営は会費と、みなさまのカンパで成り立っております。

代表 平野茂樹 連絡先 47-0605 (小泉)

